

阪神高速「震災資料保管庫」

+ 菊正宗酒造記念館 見学記

平成 27 年 11 月 15 日（日）12 時 30 分、14 名の会員が JR 住吉駅に集合し、阪神高速の震災資料保管庫および菊正宗酒造記念館を見学しました。



震災資料保管庫では、当時現場の最前線で活躍された是近氏ほか 2 名の方に、約 1 時間半にわたり案内して頂きました。20 年前の阪神淡路大震災の被災構造物（現物の一部分）を目の前に、その破壊エネルギーの巨大さに改めて驚きました。また最前線で調査復旧に当たられた是近氏の現場指揮官としての「心意気」が、強く印象に残りました。福岡氏（阪高OB）の貴重な体験もお聞きすることができました。



是近氏（左端）の説明

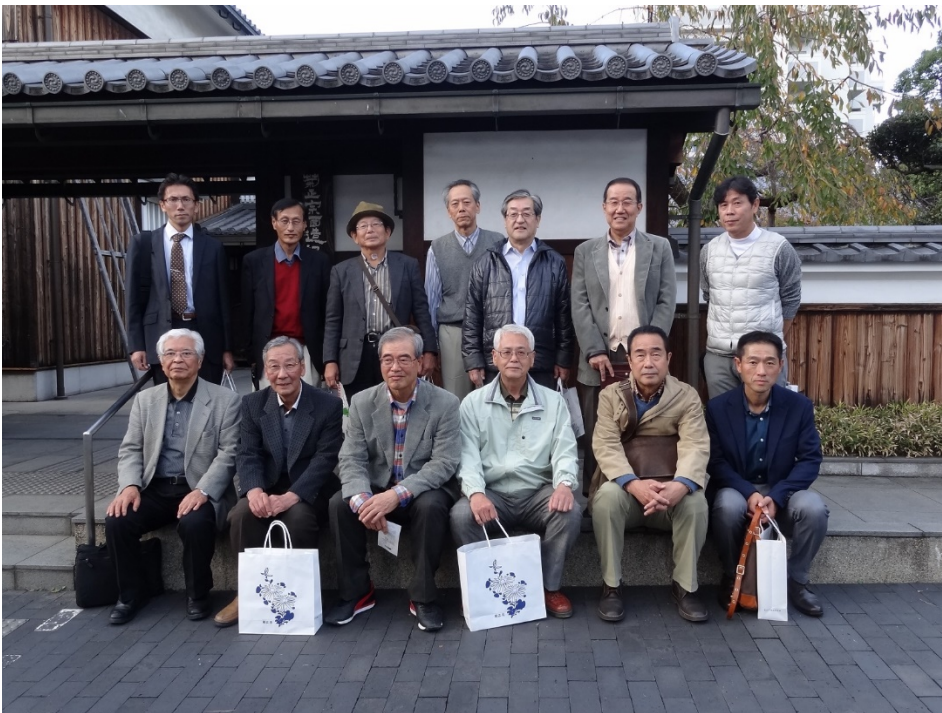


福岡氏（中央）と是近氏（右端）



円形鋼管柱の座屈と鋼板溶接による応急補修

菊正宗酒造記念館では、清酒の製造工程の説明を受けた後、3種類のお酒を試飲しました。



記念館の正門前で



製造工程の説明

住吉駅から見学先へは神戸在住会員のマイカーを利用させて頂きました。有難うございました。